

ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

2022年9月 吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ（以下HC）委員会は23年目を迎えます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のなか、参加者・ボランティアの方々への感染防止対策を行いながら準備をしましたが、感染者数の増大により直前で①HCセミナー（雪上）と②障がいをもつ人のためのスキー教室・1月五竜の2行事が中止となりました。③障がいをもつ人のためのスキー教室・3月車山については、案内・募集期間が短くなりましたが、感染対策を行いながら実施することができました。スキー場・ホテル・参加者・ボランティアのみなさまのご協力に感謝いたします。

今シーズンも、感染防止対策を整えスキー場や宿泊施設等と協力をしながら、行事が実施できるよう、準備を進めています。実施の可否については、SAK スキー連盟ホームページでお知らせをいたしますので、確認をよろしくお願いいたします。

これまでの実践で得られた貴重な経験を踏まえ、障がいを持つ方へのサポート法【ハンディキャップセミナー】は、今年度から委員会メンバーが講師となり1月の五竜1行事（白馬五竜スキー場）の雪上行事のみ実施いたします。また、チャレンジカップスキー大会については、12月の鹿沢大会についてサポートをいたします。

これらの事業を実施するためには、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや各行事の運営、委員会諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。

今年度（令和4年度）も、1月五竜のスキー教室と3月車山のスキー教室については、スポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められましたので、これまでと同様充実した内容で運営が出来るものと考えております。

今年度もHCセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室のボランティア参加もあわせてよろしくお願いいたします。

第40回障がいをもつ人のためのスキー教室 活動報告

日時：2022年3月26日（土）～27日（日）

会場：長野県 車山高原 SKYPARK スキー場・スカイパークホテル

参加者： 8名 ボランティア： 14名 理事・委員： 11名

参加前5日間と行事中は毎朝検温し体調観察をおこないました。

距離を保ちながら、参加者の障がい状況や技術レベルにあわせマンツーマンでの講習を実施しました。また、級別テストも実施し、3級3名、2級2名の方が合格されました。

（公財）神奈川県スキー連盟
ハンディキャップ委員会